



▲第一印象を高めるためのポイントや障害者への声のかけ方、日本とは違う世界のマナーなど、学校の授業では学べないことも、実演を交えながら解説されました。

林小でお・も・て・な・し！

全校児童を対象に おもてなし講演会を開催

12月9日、オリンピックパラリンピック教育推進校になっている林小学校で、全校児童を対象にしたおもてなし講演会が開催されました。

講師を務めた筑波大学客員教授の江上いずみ先生は元キャビンアテンダント（CA）。

6年生の岡崎りんさんは「コミュニケーションをとる際のアイコンタクトの大切さがわかった。これからの生活に活かしたい」と話しました。

子供たちに手紙の良さを伝えたい

葦穂小で 年賀状の書き方体験授業

12月15日、葦穂小学校の児童が年賀状の書き方についての出前授業を受けました。

講師を務めた八郷郵便局の諏訪昌彦局長から、バランスの良い宛名の書き方や、裏面の書き方見本の解説を受けた子供たちは、思い思いの年賀状を完成させました。

子供たちが書いた年賀状は、授業終了後に郵便局のマスコット「ぼすくまくん」のバックに投函されました。



▲昨年度から市内の小中学校で行われている出前授業。夏の時期には杉並小などで「暑中見舞いの書き方」を解説。



▲大好きなお姉さんの気持ちを知りたくて読んだという本のタイトルは「おねえちゃんって、ほーんとつらい！」。

最優秀賞を受賞

茨城県小中学校読書感想文 コンクール

柿岡小学校2年の大山芽生^{めい}さんが第58回茨城県小中学校読書感想文コンクールで、最優秀賞を受賞しました。普段から本を読むのが好きで、本屋さんで買ってもらったり、姉の結衣さん（同小5年）の本を借りて読んだりしているという大山さん。

大山さんは昨年度の「ぼくわたしのおじいちゃんばあちゃんの絵コンクール」においても県知事賞を受賞しています。今後の活躍が楽しみです！



▲今年のテーマは「奉仕で平和を実現しよう」。全世界の11歳から13歳の子たちが、それぞれ思い描く平和のイメージを表現しました。

県で3位となる賞を受賞 ライオンズクラブによる 平和ポスターコンテスト

柿岡小学校5年の金子茉央さんが「国際平和ポスター・コンテスト」で、県で第3位となる「第1副地区ガバナー賞」を受賞しました。

このコンテストは、子どもたちに平和について考え、また芸術に親しむ機会を与える目的で、全世界のライオンズクラブによって開催されています。

同小では、同じく5年生の内藤優さんも八郷ライオンズクラブ会長賞を受賞しました。

令和3年4月から供用開始予定 新広域ごみ処理施設で 「火入れ式」開催

12月3日、霞台厚生施設組合 新広域ごみ処理施設「霞台グリーンセンターみらい」(小美玉市高崎)にて「火入れ式」が開催されました。

焼却炉が完成したことから、施設稼働の安全を祈願して行われた「火入れ式」。今後、4月の本格稼働に向けて、試運転を行うなどして準備を進めます。

稼働開始以降は、八郷地区にお住まいの人も、同施設へごみを持ち込むこととなりますので、ご理解・ご協力をお願いします。



▲石岡市、小美玉市、かすみがうら市、茨城町の各市長・町長などがボタンを押して、炉に火を入れました。



▲南台駅では「かしてつバス」の利用促進を目的に、南小や関鉄グリーンバス(株)の協力のもと、子どもたちの絵画展示も行われました。

16年目の輝き 石岡南台駅イルミネーション

12月6日から1月9日にかけて、かしてつBRT「石岡南台駅」がイルミネーションの輝きに包まれました。

平成17年に始まったイルミネーションも、今年で16年目。南台二丁目自治会(川田 豊会長)を中心に、みなみクラブ(老人会)・みなみ第2子ども会育成会の各会員など総勢40人の地域住民の手によって飾り付けが行われました。